

「初期救急医療体制（夜間、休日等の救急診療）における小児科の診療時間の変更案」に対して寄せられた御意見と本市の考え方

○意見募集期間：令和4年12月15日（木）～ 令和5年1月16日（月）

○意見提出者：3人

※御意見につきましては、原文どおりとしています。

No.	寄せられた御意見	市の考え方
1	本市では、市民の健康と生命を守る為、開業医療機関等の協力を得て、夜間、休日等における比較的軽症の急病患者に対する診療体制を確保している。現在、国においては、医療の質や安全を確保する視点から長時間労働の実態が有る医師の負担軽減を図り、地域医療体制を維持して行こうとする「医師の働き方改革」の取組が進められている。社会情勢が変化して行く中で、今後も初期救急医療体制を確保して行く為には、救急診療に対する市民の皆様の御理解と御協力が不可欠だ。（その他）・急病当番医は、土・日・祝日にも内科、小児科、外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科にも旭川市内に新規参入を目指す。	いただいた御意見につきましては、概ね今回の変更案と同様の内容であり、御賛同いただけたものと考えております。 また、その他の御意見につきましては、救急医療体制全般に対する参考意見としてまいります。
2	この為、之迄旭川市医師会を始めとする関係機関とは、今後においても初期救急医療体制を確保して行く事を確認し、現在の体制を可能な限り継続出来る様協議を行って来た。急に身体の具合が悪く成った等、緊急性の高い場合を除き、出来るだけ通常の診療時間にかかり付け医や近隣の医療機関を受診する等、医療機関を適切に受診する事が必要だ。（その他）・救急当番医は、土・日・祝日にも内科・小児科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科、精神科にも旭川市内に新規参入を目指す。	いただいた御意見につきましては、概ね今回の変更案と同様の内容であり、御賛同いただけたものと考えております。 また、その他の御意見につきましては、救急医療体制全般に対する参考意見としてまいります。
3	現在は市立旭川病院の施設が老朽化により古くなってきて、それに国道12号線沿いの台場地区は少子高齢化の人口減少により過疎化が進んで、しかし新型コロナウイルスの終息が見通せなくて、最近の病院は新型コロナウイルスの感染拡大防止により面会できなくて、そろそろ台場1条2丁目の国道12号線沿いの「旧旭川ジャンボプール跡地」は新しい施設の新設を決めたいし、できれば初期救急医療体制における小児科の診療時間の変更は新型コロナウイルスの終息を迎えてから診療時間を変更させたいから、それで市立病院を台場1条2丁目の国道12号線沿いの「旧旭川ジャンボプール跡地」に新築移転させてから小児科の診療時間を変更させたいので、そろそろ市立旭川病院をそのままにしておくのは本当にとっても困るぞ！！	いただいた御意見は、初期救急医療を含む医療提供体制全般に対する参考意見としてまいります。